

# レッツ・トライ・ゲートボール!! ~日本で誕生した超戦略型スポーツ~

# LET'S TRY GATEBALL

- 5人対5人のチーム対抗によるゲームで、1試合は30分間。
- 先攻チームは奇数の打順(1番・3番・5番・7番・9番)、後攻チームは偶数(2・4・6・8・10)の打順とし、各競技者は打順と同じ番号のボールを自分のボールとして使います。  
1番から順番に1回ずつ自分の番号のボールを打ち、交互に進めていきます。  
10番の後は、また1番へと戻り、試合終了まで繰り返していきます。
- スタートエリアから、第1ゲート、第2ゲート、第3ゲートを順に通過して、最後にゴールボールに当てると「上がり」となります。それぞれの得点は右表参照。
- 試合終了時に総得点の多いチームが勝ちとなります。

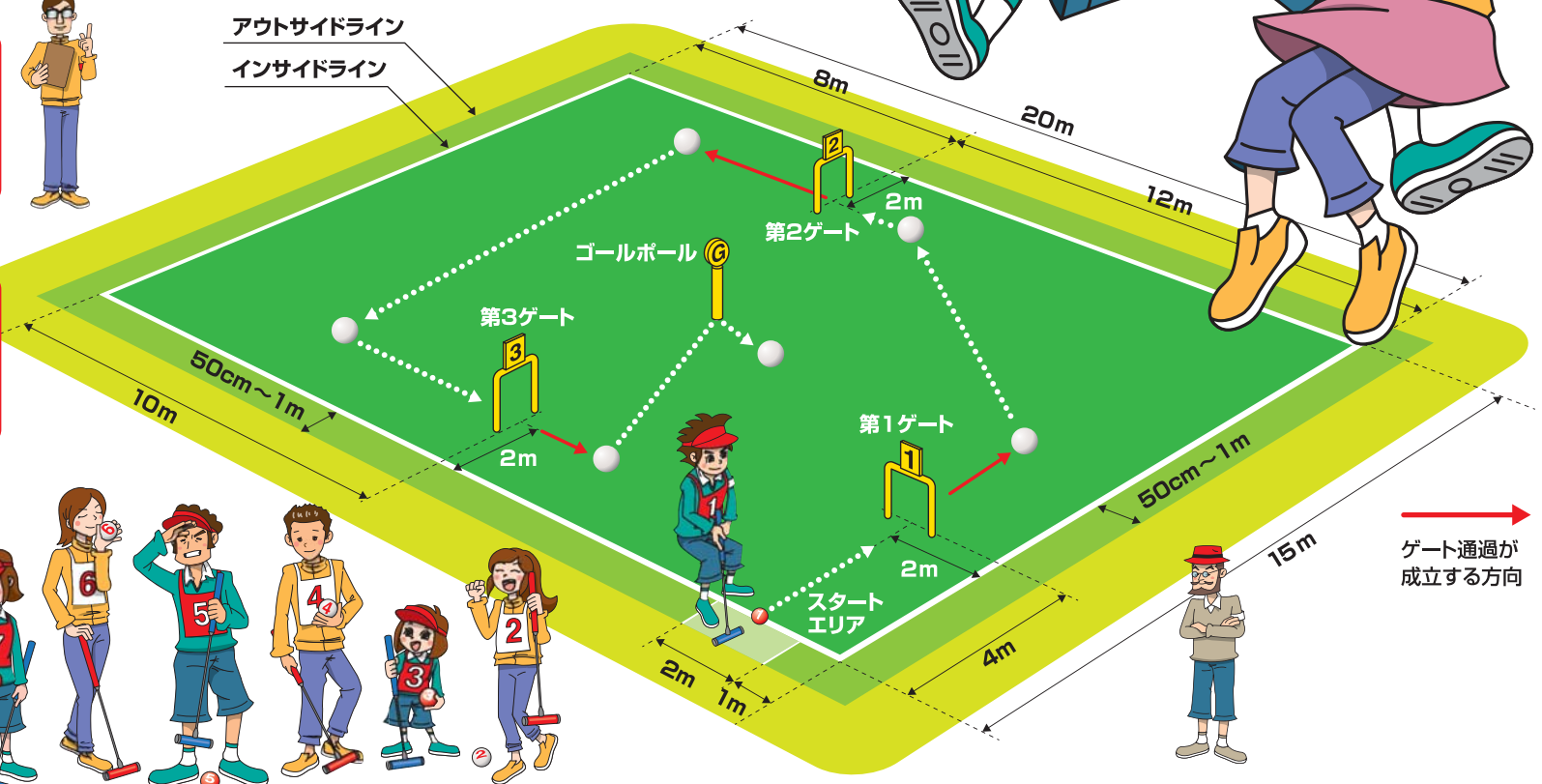
得点	
第1ゲート通過	1点
第2ゲート通過	1点
第3ゲート通過	1点
上がり	2点
個人の合計得点	5点



**ポイント②**  
ボールがインサイドラインの外に出た場合は、アウトボールとなり、次の打順のときには、出た地点より10cm外側の位置からボールを打ち入れます。



**ポイント①**  
第1ゲートは、スタートエリアから一打で通過しないと成立しません。通過できなかった場合は、次の打順まで待って、スタートエリアからやり直します。



# ゲートボールの特徴

## 日本で生まれた国際的スポーツ

1947年、北海道の芽室町で鈴木栄治さんという人が、**子どもたちのために考案したのが「ゲートボール」**。今では世界各地へと広がり、アジア地域を中心に50をこえる国・地域にて楽しんでいる国際的なスポーツになっています。**4年に一度、世界一を決める国際大会**も行われています。

## 個人プレーとチームプレーの絶妙なバランス

単に「ゲート通過」や「上がり」を競い合うのではなく、一打ごとに化するボールの配置を読み、「**タッチ**」や「**スパーク**」を**組み合わせながら**チームプレーによるボールの連係が勝敗のカギとなる**超戦略型スポーツ**。

## だれもが楽しめるバリアフリー・スポーツ

試合時間は30分間で、**プレイヤー同士が接触しない安全なノンコンタクト・スポーツ**。体力差も関係ないため、年齢・性別・人種をこえ、**みんながハンデなく一緒に楽しむ**ことができます。

同世代での試合はもちろんのこと、**世代をこえたファミリーチームの対戦**、**子ども対大人の対戦**など、いろいろな交流が楽しめるスポーツです。



# ゲートボールの楽しさ

## 第1ゲートは難しい？

第1ゲートは、スタートエリアから一打で通過しないと成立しません。通過できなかった場合、次の打順でスタートエリアからやり直すことになります。

## タッチとスパークをマスターしよう！

第1ゲートを通過したあと、自分のボールを別のボールに当てることを「**タッチ**」といいます。タッチして、自分のボールとタッチしたボールがコートに残った時は、タッチしたそのボールを「**スパーク**」します。味方ボールの時は、ボールが行きたい場所に送ったり、ゲート通過や「**上がり**」にすることもできます。相手チームのボールであれば、アウトボールにすることができます。

### <スパーク打撃>



※基本は1回ごとに打順が移りますが、ゲート通過やスパークが成功したときは、続けてもう1回、自分のボールを打つことができます。一打でゲート通過とタッチが成功すると、スパークのあとに2回続けて打つことができます。

## アウトボールはくやしい

コート(インサイドライン)の外に出たボールは、アウトボールとなります。アウトボールから打つときは、コートの中に入れるだけで、タッチ、ゲート通過や「**上がり**」ができませんので、アウトボールにならないよう注意しましょう。



スポーツ振興くじ助成事業



公益財団法人

日本ゲートボール連合

ゲートボールに関する情報は日本連合の公式ホームページをご覧ください。

ゲートボール

検索